

六月例会御案内

(平成二十九年・通算第三六五回)

時代を刷新する会

○御案内

六月十三日(火) 正午～午後二時半

参議院議員会館 地下一階・B105会議室

議題 北朝鮮の情報機関!、特にサイバー攻撃の能力! 講師 黒井文太郎先生(軍事ジャーナリスト、特に各国の情報・諜報活動の専門家)

◎北朝鮮は、今年に入って、八回もミサイルを発射し、その脅威はもろろんですが、もう一つ、心配していることは、北朝鮮のインテリジェンス(情報・諜報)の技術能力が高いとされていることです。そうした能力により、電子技術の粋ともいえるミサイル性能を向上させ、それはまたそれによる防御能力も向上させている、と見ることができるところです。また、北朝鮮は、そうした電子技術により、バン格拉デシュ国から巨額な金額を詐取したのをはじめ、諸国家から多額の資金を奪取しているとの情報もあります。日本でも近年、企業・個人の口座から電子技術により不明金が奪取されているとの情報もあり、それが北朝鮮によるのではないかと、いわれれております。経済面・技術面へのそうしたサイバー攻撃も、由々しき問題なので、今回、そうしたインテリジェンス(情報・諜報)についての専門家である黒井文太郎先生に、御解説をうかがいます。これも、重要な国家的課題、奮っての御参加をお待ち申し上げます。(清原記)

□ 当日会費 会員四千元、非会員五千元 ▽六月九日(金) までに出席の御連絡賜りたく

時代を刷新する会

当日連絡先 080-8836-6203 重田

080-9292-2620 高津

(通話のみ)

六月十三日(火)の月例会に

<http://www.jidaisassin.jp>

電話 03-3272-4320

FAX 03-3507-8587

出席 欠席 (いずれかに○印を)

御芳名

貴方様のFAX

メール

○御報告

米国のトランプ新大統領は、四月に訪米した習近平中国主席に対して、南シナ海で環礁を埋立基地化することを止めること、度重なる北朝鮮のミサイル発射への中国の影響力行使を求め、なごど、米中関係が緊張している折から、去る五月二十二日の月例会講話は、『どうなる米中関係! どうする習近平!』と題して、昭和の時代から中国ウオッチャーとして知られ、当団体の講師会員のお一人である国際関係評論家の宮崎正弘先生に、御講話をお願いいたしました。その御講話の内容は、米中情勢はもろろん、南北朝鮮半島情勢、さらには世界国際関係情勢に及び、熱心に御解説下さり、一同、大層勉強になりました。

宮崎先生のお話をすべて紹介するわけにはいきませんが、その冒頭の一部を紹介いたしますと、アメリカのレッドラインは、北の核弾頭の小型化実現とそのミサイルが米本土に届くときである。習近平は一〇〇日くれ、その間になんとかするとおっしゃったという。習近平はアメリカと経済の話はメインとしたかったが、トランプはほとんど経済の話はしなかった。米中会談の途中でアメリカはシリアにミサイルを撃ち込んで牽制した。ロシアには事前に知らせていたが、中国には事前に知らせなかった。また、アメリカによる北朝鮮攻撃はあるか? について、湾岸戦争勃発時は、その近海に米空母が四隻いた。しかし、いま北朝鮮沖では米空母はまだ二隻である。また特殊部隊による金正恩暗殺もささやかれているが、堅固の洞窟の中にも忘れた思ひでした。(清原記)

▽「時代を刷新する会」とは、

「何事も人類・国民のためになることには、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄元衆議院議長。第四代・塩川正二郎元文部大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として江口一雄元衆議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・外務副大臣が就任しております。岸信夫衆議院議員は、当団体の創立者・岸信介元総理の直系の孫に当たります。

▽事務局電話(03)3272-4320

専務理事・清原淳平、総務 重田典子、高津優介